



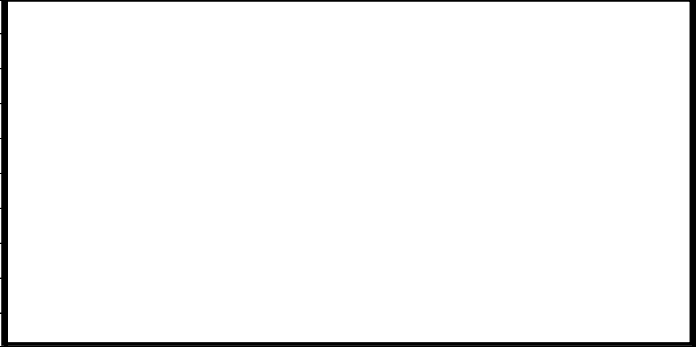
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

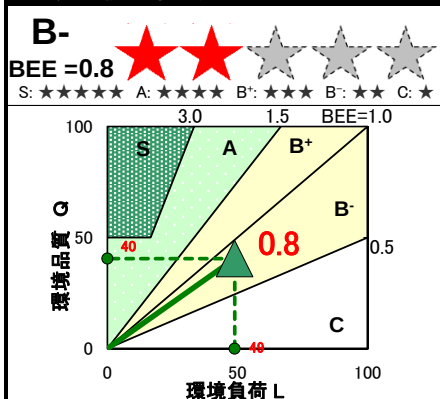
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)株式会社広研様D-room新築工事	
建設地	西成区花園南2丁目	
建築用途	小規模物販、フィットネス、集合住宅、工場(屋外駐車場)	
建築主		
設計者		
敷地面積	972.73	m ²
建築面積	559.64	m ²
延床面積	3,540.46	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上8階
完了年(予定)	2021年11月	

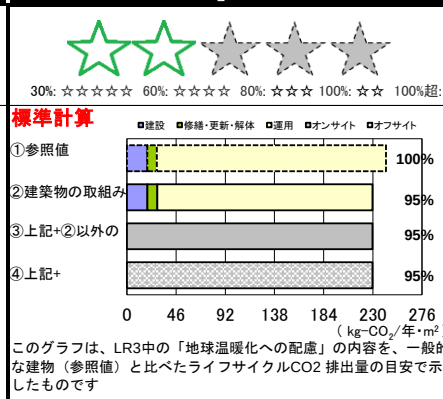
1-2 外観



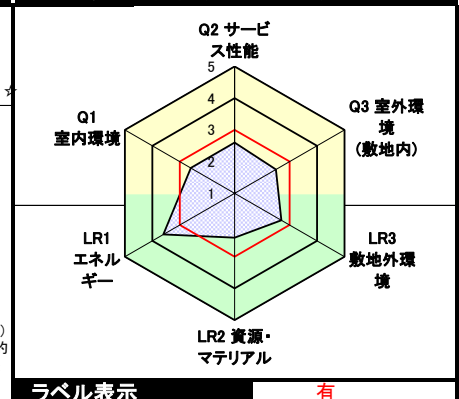
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



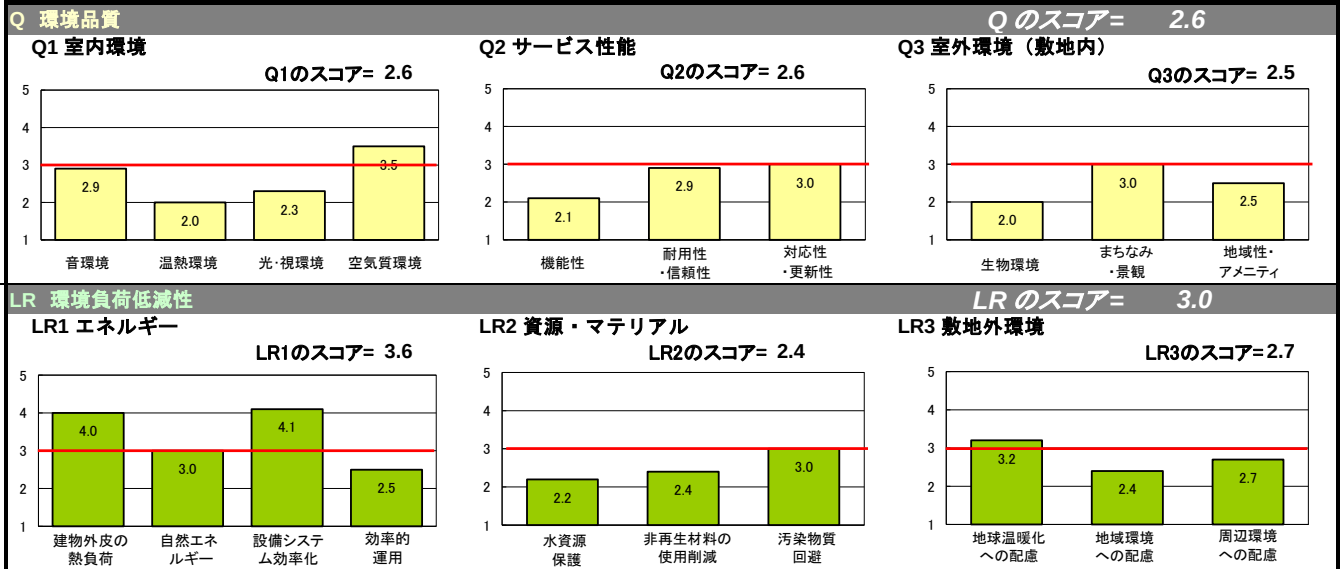
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 住宅は省エネルギー基準に適合する仕様とし、環境負荷の低減を図る。		その他 特に無し
Q1 室内環境 内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、居住者の快適性に配慮する。	Q2 サービス性能 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用する。	Q3 室外環境(敷地内) 外構に緑地を複数箇所設け、敷地内温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量低減のため、潜熱回収型給湯器、LED照明等を採用する。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 条例に基づき、適切な量の自転車置き場を確保する。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.2
配慮事項	ライフサイクルCO ₂ 排出量の抑制を図る。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	敷地内に適切な緑地を確保する。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	住宅は外皮、一次エネルギーとも省エネ基準に適合

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.1
配慮事項	潜熱回収型給湯器、LED照明等の採用

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)		非住宅部分[BPI][BPI _m] -		
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] -		住宅部分[BEI] 0.86	非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.99	

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 26 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 272.1 ）m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 108.8 ）m ²
ウ 設置可能容量	（ 16.3 ）kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☒ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☒ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ）m ²
イ 発電容量	（ ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 26 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1" data-bbox="619 613 1382 817"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

ア 建築物の用途	
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(272.1) m ²
エ 概算年間熱利用量	(592,362) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☐ 年間を通じて安定した熱需要がない

☒ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☒ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考
